

媒体名	日本流通産業新聞	掲載日	2014年6月26日
タイトル	第三回 エビデンス化粧品素材 特集		
<div data-bbox="1220 817 1364 1512" style="text-align: center;"> <p>ニュートリション・アクト 化粧品・健康食品素材「AC-11」</p> </div> <div data-bbox="1133 896 1189 1512" style="text-align: center;"> <p>内外美容実現できる素材として注目</p> </div> <div data-bbox="247 795 1093 1848"> <p>植物由来の化粧品・健康食品素材「AC-11」は、DNA修復促進作用という独特の機能メカニズムを持つ。さまざまな美容効果を発揮することが各種試験で確認されており、内外美容を実現できる素材として注目されている。健康食品・化粧品のOEM製造などを行うニュートリション・アクト（本社東京都、石川雅己CEO、〒031547517313）が提案している。</p> <p>同素材は、キャットクローの熱水抽出エキス。有効成分「カルボキシアルキルエステル」8%以上含有で規格化されている。</p> <p>DNAは、紫外線や活性酸素により1日最大50万回の損傷を受けており、損傷の蓄積が老化や疾病の原因になるとされる。「AC-11」は、加齢により衰える、DNAの修復機能をサポートする働きを持つ。美容分野では、美容分野では、シミ、シワ、たるみ、くすみ、炎症、光老化などに、塗りまたは経口摂取により改善効果を発揮することが期待されている。</p> <p>3次元皮膚モデルに紫外線を照射した試験では、AC-11塗布群では、AC-11塗布群での照射24時間後の皮膚組織中の損傷DNAの修復効率が確認された。サンバイン細胞（紫外線による細胞壊死）数も約95%抑制できた。</p> <p>紫外線照射後の日焼け肌におけるAC-11の美白効果を、代表的な美白成分であるコウジ酸と比較したヒト試験では、コウジ酸塗布群のホワイトニングファクター（数値が大きいほど美白の即効性を表す）が1.7だったのに対し、AC-11塗布群は1.85となり、コウジ酸を上回る美白効果が明らかになった。</p> <p>42人を対象にしたヒト試験では、AC-11配合のサンスクリーン剤の塗布が、日光による紅斑・水ぶくれの発生率を有意に減少させることを確認している。</p> <p>経口摂取を想定した試験でも、紫外線や酸化ストレス、放射線によるDNA損傷の修復促進作用を確認。肌への効果を調べた試験では、柔軟で弾力のあるⅢ型コラーゲンの量が10日間で約4.7倍に増加した。</p> <p>構造・機能強調表示が可能な米国では、「DNA修復」の機能性をうたう同素材配合サプリメントがすでに市場で販売されている。有効成分が定量でき、エビデンスが豊富であることから、AC-11は、国内の新制度においても、機能性表示が可能となることに期待がかかる。</p> </div>			